

卒業生・修了生から

卒業生

俺が図書委員長だ

電気情報工学科卒業生
岡田 修一郎



僕は2年生から卒業するまでずっと図書委員を務めてきました。図書委員になってからはブックハンティングにも参加してきました。なぜそんなに本に関わってきたかというやはり昔から本が好きだったからです。僕が本に興味を持ったきっかけは小さいころに読んだ昔話の絵本までさかのぼると思います。僕は今20歳ですが15年近く本に触れてきたことになりますね。中学生のころには図書室で100冊以上の本を借りたと思います。しかし、たくさん本を読んだといっても難しい本を読むことはほとんどなく、簡単で読みやすい本がほとんどです。それに最近読んだものといえば、小学生が読むような本やマンガ、ネットニュースくらいです。それでも文章を読む、

日本語を読むということはとても楽しいことだし、自分の力にもなると思います。図書館に来たら難しい本を読まないといけないなんてことはありません。勉強の本だけでなく、面白くて楽しい本もたくさんあります。一度図書館の中をぶらっと1周してみてください。きっと気になるタイトルの本や、きれいなカバーイラストの本に出会えると思います。それで少しでも文字を読んでくれるとうれしいです。ちなみに僕がブックハンティングで図書館に入れた本には「ラブライブ!」の本やアニメ原作の小説「輪るピングドラム」、あと「筋肉の神マッスル」などのライトノベルなんかがあります。ぜひ見つけて読んでみてください。きっと面白いと思いますよ。

今回は触れませんが図書館には勉強のための本もびっくりするくらい充実していて、その気になればいくらかでも資格が取れます。TOEICの本もたくさんあります。それにDVDで映画も観れて、音楽のCDも借りることができます。しかもラブライブ!があるしライトノベルだって何百冊もあります。こんなに何でもある図書館が学校にあるなんて皆さんは幸せ者だなあ。

図書館との思い出

情報工学科卒業生
矢野 友加里



私が図書館をよく利用した時期は、4,5年生の時です。学年が上がるにつれて、レポートや研究等の関係で、参考文献として本を借りていました。探している内容に対して、何十冊も本が置かれているため、選ぶのに大変と思いつつも、充実した環境で勉強に取り組めたと感じています。

また、その勉強の休憩として、小説も読むようになりました。図書館には、出版された年が古いものから新しいものまで、幅広い年代の本がたくさんあります。私は、

音楽が好きだったため、「合唱」や「楽器」がメインとなる本を読む機会が多かったです。今では、推理諸説やエッセイなど様々な種類の本を読むようになりました。

今、こうして図書館での思い出を振り返って思うのは、もっと早くから図書館を利用し、本を読めば良かったという事です。図書館を利用し始めてから、本を読む楽しさに気付き、新しい気分転換の方法の一つとなりました。こういった機会を与えてくれた図書館や、私達が利用しやすいように工夫してくださる図書館の方々、本当にありがとうございました。

また、今まであまり図書館を利用していない方や、本を読んでいないという方は、ぜひ図書館に足を運んでみてください。きっと、自分が夢中になれる本に出会う事ができると思います。そしてその経験は、自分の成長の力になると思います。これを機会に、図書館を利用する人が増え、本を読む人が増えることを願っています。

修了生

図書館の魅力

電子情報通信工学専攻修了生
西丸 大貴



私はこの1年間アルバイトをさせていただきました。アルバイトを始めるまで図書館はDVDを見に行く程度しか利用していませんでしたが、アルバイトを通じて図書館のいろいろな面を見ることができました。そして、図書館はいろんな場面で活用できる場所だと感じました。

図書館は、工学系の専門書はもちろん、料理本や雑誌、心理学やスポーツ科学の本まであります。その中でも就活関連の本が充実しており、そこが本校図書館の魅力の

ひとつだと思います。SPIやSCOREの最新の問題集や、面接対策の本が揃っているため、万全の対策をして入社試験に臨むことができます。さらに図書館では、6社の新聞を毎日購入しており、過去の新聞も保存してあります。新聞を見れば、世の中の流れや情勢を知ることが出来ますし、「毎日新聞を読んでいる」、「図書館を頻繁に利用している」というアピールポイントを作ることができるので、印象が良くなること間違いなしです。

上記以外にも、人によって様々な使い方ができます。それが実現できるのは、本校の学生に特化した本が多数揃っているからだだと思います。これまで図書館と縁が無かった人も、一度館内を見回ってみてください。そしてあなたに合う利用のしかたを見つけて図書館を有効活用してください。

好きということ、 知るということ

創造工学専攻修了生
安藤 瑞希



私は専攻科入学から2年間、図書館でアルバイトをさせていただきました。業務内容は図書の貸出や返却の受付、返却された図書の配架、本の紹介などです。業務を行っていて驚いたことは、本校の学生や教職員等の学校関係以外に企業の方達も図書館を利用していたことです。この2年間の図書館業務を経て、私は前より本を好きになりました。

「7年の高専生活で一番身近な場所はどこか」と聞かれたなら、私は図書館と答えるでしょう。テスト期間はもちろん、授業で難しい課題が与えられれば、その解決策を探すために図書館を利用していました。特別研究においても、研究の土台をより頑強にするために多くの専門書

を読み、ブックハンティングにも参加しました。これらの経験がなければ今の自分はなかったと思います。

さて、皆さんに質問があります。高専に入学して興味のある技術や好きな分野は見つかりましたか？見つかった人は本当にその分野のことを知っていますか？春というものは夏や秋があって初めて成り立ちます。もし春が好きという人がいたなら、その人は春にあって夏や秋にない何かを知っていたからこそ春が好きだと言えたのです。つまり何かを好きというためには好きではないものの存在も知っておく必要があるのです。これは何事にも通じると私は思っています。興味のある分野が見つまっている人もそうじゃない人も、色々な本を読んでどんな分野が存在するかを知ってください。新着図書やブルーバックスコーナーで目に付いた本を斜め読みしても良いですし、小説や啓蒙書を読んで他人の考えを知り、自らの視点を拡張するのも良いと思います。読書にかかった時間は決して無駄にはなりません。みなさんも様々なジャンルの本を読み視点を広げていってください。

図書館貸出冊数

平成27年4月～平成28年2月

〈総合〉

種類	高松	詫間	合計
図書	7,883	8,909	16,792
雑誌	155	649	804
C D	2,300	1,411	3,711
合計	10,338	10,969	21,307



〈学科別〉（対象：図書とCD）

